



決算報告

平成26年度の決算が第3回南牧村議会定例会において認定されました。

一般会計の決算額は、歳入総額20億9,264万円而对前年度比は1.9%の減、歳出総額20億672万円而对前年度比は、0.1%の増となりました。歳入歳出差引額8,592万円から平成27年度へ繰り越した2,624万円を差し引いた残りの5,968万円が黒字となりました。

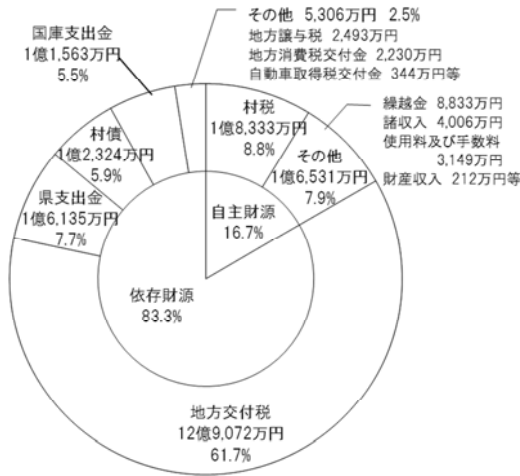
依然として厳しい財政状況ではありますが、引き続き行財政改革に取り組みその成果を村づくりに活かしていきます。

歳入総額 20億9,264万円

歳入総額は、前年に比べ4,093万円減となりました。貴重な自主財源である村税収入は、景気低迷などの影響で村民税が減少するとともに、固定資産税、軽自動車税が減ったため、341万円(1.8%)減の1億8,333万円となりました。

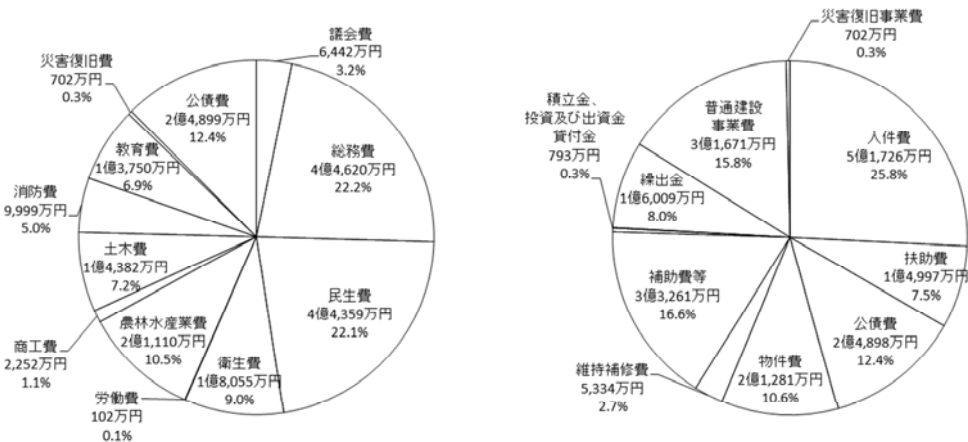
また、村債の内、臨時財政対策債(普通交付税財源の不足額を確保するために発行する起債)が433万円(5.5%)減の7,424万円となりました。

歳入の6割を占める地方交付税は、前年度に比べ4,059万円(3.0%)減の12億9,072万円となりました。



歳出総額 20億672万円

歳出総額は、前年に比べ148万円の増となりました。主に減少した費目は、教育費5,743万円(29.5%)、災害復旧費332万円(32.1%)、公債費3,158万円(11.3%)、増加した費目は、民生費3,947万円(9.8%)、農林水産業費3,310万円(18.6%)、土木費3,286万円(29.6%)、消防費1,576万円(18.7%)です。



平成26年度の主な事業

生活環境基盤の整備充実

テレビ・インターネット運営事業	43,392千円
乗合バス・タクシー運行事業	21,190千円
村営住宅建設事業	41,504千円
高齢者住宅土地購入事業	34,456千円
道路ストック総点検事業	16,232千円
電気自動車充電器設置事業	3,218千円

福祉・健康増進施策充実

心身障害者福祉事業(障害介護給付費等)	74,635千円
児童福祉事業(保育園委託費、児童手当等)	49,374千円
高齢者福祉事業(敬老祝金、敬老会等)	6,455千円
介護保険料軽減事業	15,000千円
住民健診・予防接種事業	13,006千円

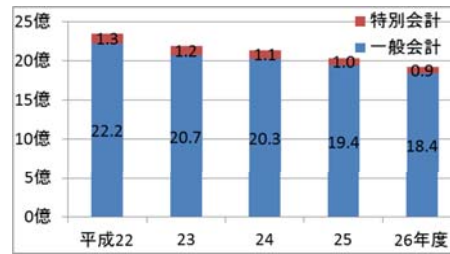
少子高齢化対策

子育て応援事業(保育料・給食費免除等)	8,032千円
75歳以上乗合バス・タクシー無料化事業	4,162千円

村債(借入金)残高の状況

村債の平成26年度末の残高は、一般会計が18億3,791万円、特別会計が8,900万円となりました。

財政運営上有利な起債を活用し、計画的な発行を行っていることから年々、減少傾向にあります。引き続き後年度の財政負担を勘案した村債の発行に努めます。



産業振興の充実

林道湯ノ沢小仁田線開設事業	9,087千円
林道大上線舗装事業	14,548千円
村道大倉線舗装事業	8,597千円
黒滝農道整備事業	10,330千円
林道渡戸線舗装事業	11,772千円
村道等景観整備事業	9,861千円

防災対策の充実

消防引入道設置事業	5,476千円
消防車積載用可搬ポンプ整備事業	5,832千円

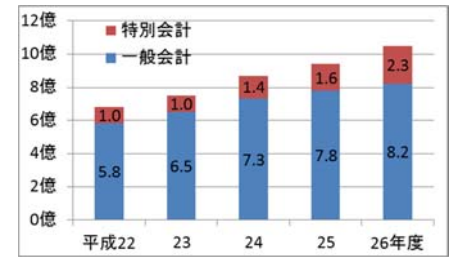
教育の充実及び文化財の保護・整備

学校整備事業	2,646千円
民俗資料館管理運営事業	8,365千円
公民館改修事業	3,780千円
給食センター改修事業	1,544千円

基金(積立金)残高の状況

基金の平成26年度末の残高は、一般会計が8億2,261万円、特別会計が2億2,988万円となりました。

このうち財源調整のための財政調整基金は、7億681万円です。村税収入の減少が続く中で、今後も将来の財源不足に備えた積立に努力していきます。



特別会計の状況

会計	歳入	うち一般会計繰入金		歳出	差引額
		歳入	歳出		
国民健康保険特別会計	4億3,988万円	2,200万円	4億964万円	3,024万円	
簡易水道特別会計	3,597万円	1,170万円	3,543万円	54万円	
自然休養村特別会計	110万円	110万円	110万円	0万円	
生活排水特別会計	2,420万円	1,120万円	2,410万円	10万円	
介護保険特別会計	5億5,838万円	8,847万円	5億5,609万円	229万円	
後期高齢者医療特別会計	4,813万円	2,562万円	4,813万円	0万円	